

第406回 高浜町教育委員会定例会 会議録（要旨）

日時 : 令和7年1月10日（金） 午前9時00分～午後2時35分

場所 : 高浜町役場2階 会議室1・2

出席者 : 教育長 村田 好史 委員 土本 聡美
 委員 江川 雅也 委員 堀口 克博
 委員 藤田 正吾

事務局 : 局長 千坂 浩一郎 次長 吉本 秀明
 次長 奥野 泰久 主査 岩井 由紀子

（1）教育長の開会宣告

（2）第405回高浜町教育委員会（定例会）会議録の承認について 村田教育長・江川委員・藤田委員

（3）議事日程

第1 会議録署名委員の指名について 堀口委員・藤田委員

第2 会期の決定について 1月10日から1月10日までの1日間

第3 委員会の諸事項報告について 江川委員：令和6年12月19日（木） 「あらゆる人権侵害をなくする審議会」に出席 （はまなすマラソン ユニバーサルの部の開催について、町内 公共施設のユニバーサル化について等の報告あり） 教 育 長：主な出来事、行事等について報告 （郷土資料館秋季企画展、高浜町文化祭、高浜七年祭保存会 文 部科学大臣表彰受章、秋のスポーツ教室、町議会12月定例 会、自衛隊コンサート等）

第4 議案第1号 令和7年度高浜町一般会計教育関係費当初予算について

[事務局から説明 … 可決]

《各委員からの質問等》

(江川委員) 高浜町史編纂事業について、今後の発行予定は。

(事務局) 今年度中に発行予定の「埋蔵文化財編」が大幅に遅れている関係で、「年表・索引・正誤表」については今年度中ではなく、令和7年度秋頃を目標に発行予定であり、当初予算に改めて計上した。

(堀口委員) UIターン奨学金返還サポート事業がもっと広く周知され利用されても良いと思うのと同時に、高浜町は小中学生には手厚いが、高校や大学、20代から30代あたりが手薄になっている印象がある。

(事務局) 都市部と地方の間で生じる不利な部分を支援するため、入学・新生活スタート応援給付金の制度に新たに大学等への進学時も支援できるように予算計上している。また、居住地域によって教育格差が生じないようにするという考え方のもと、高校の通学費助成などの施策も行っている。

(教育長) 指摘のあった年代へのサポートもより一層意識しながら、今後の施策を検討していきたい。

(堀口委員) 小学校施設整備事業で防犯対策としてカメラ設置が計上されているが、通学路のカメラ設置についてはどうか。

(事務局) 防災安全課が、通学路を含む町内の主要な場所に防犯カメラを設置し始めている。

(江川委員) 小学校施設整備事業で高浜小学校の空調設備設置工事が計上されているが、他の施設はどのような予定か。

(事務局) 他校も順次入れていく計画であり、町としても避難所となる施設を優先的に行う予定だが、町全体の工事関係のスケジュールと予算、そして業者の受けられるキャパシティの問題もあることをご理解いただきたい。

(江川委員) B & G体育館など含め、社会体育施設はどうか。

(教育長) 将来的に、町内にある施設をある程度1つに集約していくのか、各地区に必要なのか、考えていく難しい時期に来ている。これが

ら、地域の方々の意見を十分にお聞きしながら検討していきたいと考えている。

(土本委員) 高校の通学費助成と寮費助成について、両方の制度を使うことはできないのか。

(事務局) 2つの制度の併用は難しい。

(土本委員) 寮費助成については、一か月あたりの補助の上限が5千円だが、見合っていないのでは。

(事務局) 適正な金額への見直しを検討していきたい。

(土本委員) タブレットの使用について、視力の点や学力の点で心配なところがある。

(教育長) 視力については、福井県はもともと視力と虫歯に課題があり対策をしているところ。タブレットの使用と学力の関係については、その使用によって表現力や思考力を高めることに繋がると考えており、決して手書きや紙ベースのもの等、基礎的な部分を疎かにするつもりはない。タブレットは宿題や探究活動で活用しモチベーションを上げるような使い方をしている。

(藤田委員) 海外留学事業委託料について、以前行われていたオーストラリア海外派遣事業と同様のものなのか。

(事務局) 以前のオーストラリアは、対象は中学生で教員が付き添ったが、今回計上の海外留学事業は、英語学習の環境が充実しており比較的安価なフィリピンで、対象を高校生まで広げ、教員ではなく添乗員がアテンドすることを考えている。また、滞在先もホームステイではなく、学校施設と寮で英語をしっかりと学べる環境を提供する予定。

(藤田委員) 海外派遣事業は、英語力だけでなく人間性の成長が見られる良い事業だったので、今後も継続を希望する。

(事務局) コロナ禍もあり、海外への渡航について中断していたが、再開したいと考えていたところ。海外での英語経験と国際感覚を養うことのできる事業を継続していきたいと考えている。

(江川委員) 文化会館の地下重油タンク用途廃止工事について、どのような工事なのか。

(事務局) 文化会館の暖房用として必要なタンクだったが、現在は電気になっているので不要であり、廃止工事をする事で消防への届出等も不要となるので、本工事を実施したい。

(江川委員) 文化会館活動事業の中の町文化協会補助金の詳細は。

(事務局) 200万の補助金のうち、4分の3は町文化祭等の活動だが、残りの4分の1は部活動の地域移行の動きの中で、文化活動分野での受け皿を拡大していくための補助金となっている。

(江川委員) 文化会館については、車いす席の場所や、駐車場の場所など、バリアフリー対応が不十分な面が多い。

(教育長) 文化会館の大ホールに車椅子の方や高齢者の方が入りにくいという声は以前からいただいているので、今後の施設改修の中で検討していきたい。

(江川委員) 生涯スポーツ推進事業の中で、はまなすマラソンのコース変更計画の話があったが詳細は。

(事務局) 現在の10キロコースは隣のおおい町まで入るルートになっているため、町内でおさまるように変更を考えている。

(堀口委員) 中央球場について、他球場も含めた今後のビジョンは。

(事務局) 全ての施設について、今後、ハード面だけでなく運営等を含めたソフト面のこと、また地域スポーツ全体のことを考えた上で、施設計画の検討をしていきたいと考えている。

(4) その他

◎部活動の地域移行（地域展開）について

資料を元に事務局より説明

◎各小中学校の卒業式・入学式について

各委員に出席を依頼

◎次回の開催日程について

令和7年2月3日（月） 午後7時～

(5) 教育長の閉会宣告